

加藤 啓

Kato

Kei



94年、劇団「拙者ムニエル」に旗揚げより参加。以降、看板俳優として全ての公演に出演。独自の発想力から生み出されるキャラクターは鮮烈で、二枚目と三枚目の顔を自由に使い分け、様々な役を演じ切る。

俳優以外にも、コントユニットでの活動や、教育団体での演技講師、絵本製作、映画監督、脚本家と幅広く活躍し、作品の独創性も評価されている。



1974年12月4日生まれ 43歳 愛知県出身身長：171cm B87/W81/H92 靴26cm

所属劇団：拙者ムニエル ユニット：モッカモッカ<動物電気「辻修」とのコントユニット>

趣味：絵画・散歩・フットサル 作家（脚本） 監督 早稲田大学第二文学部卒 保育士資格あり

【受賞歴】（モッカモッカ名義の監督作品で）

2008 TOKYO MX「ほぼ1」倉本美津留賞

2008 第1回 600秒デジタルショートアワード「笑い部門」グランプリ

2007 ヨーロッパ企画Presents「第4回ショートショートムービーフェスティバル」入賞（2位と3位、東京・大阪本選）

- 舞台 -

2018

劇団かもめんたる第4回「尾も白くなる冬」@赤坂REDシアター

2017

ゆく年く・る年 冬の陣 師走明治座時代劇祭「る年祭」 演出：板垣恭一

「ReLOVE」 THE YASHIRO CONTE SHOW 脚本・演出：家城啓之

「三途会～私の人生は罪ですか？～」 作・演出：鈴木おさむ

「六本木アートナイトスイッチ2017」スイッチ総研

「きゅうりの花」土田英生セレクション vol.4 作・演出：土田英生

「魔王コント」作・演出：家城啓之

「猿狸合戦」SENGOKU WARS～RU・TENエピソード2～ 演出：佐々木充郭

2016

「六本木アートナイトスイッチ2016」スイッチ総研

「穂の国とよはし芸術劇場スイッチ」スイッチ総研

「ソラオの世界」スイッチ総研 作・演出：西田シャトナー

「私のホストちゃん THE FINAL ～激突！名古屋栄篇～」 演出：村上大樹

「超、今、出来る、精一杯。」月刊「根本宗子」

「幕末太陽傳」上演台本・演出：江本純子

「旅人食堂」少年社中 第31回公演 作・演出：毛利亘宏

「俺の白飯を越えてゆけ!!」ヨーロッパ企画 作・演出：大歳倫弘

「光沢のある赤いスイッチ」とくお組 作・徳尾浩司/演出：篠崎友

…その他多数

- 映画 -

「ねえ、この凹にハマる音をちょうだい」

監督・脚本：加藤啓（2017）

「天秤をゆらす。」 監督：毛利安孝（2016）

「ワンダフルワールドエンド」 監督：松居大悟（2015）

「笑う大天使」 監督：小田一生（2015）

- TV -

AbemaTV「#声だけ天使」ミクリヤ・ヒカリ役

第2、6、7話（2018）

関西テレビ「新・ミナミの帝王」大村伸治役 第14作（2017）

テレビ朝日系「女囚セブン」鎬木役 7、8話（2017）

BSスカパー「演劇人は、夜な夜な下北沢の街で呑み明かす」

BSジャパン「インテリワードBAR見えざるピンクのユニコーン」

- CM -

アイデム演劇プロジェクト『坊っちゃん2015』（2015）

アイデム演劇プロジェクト『ロミオとジュリエット』（2015）

- ラジオCM -

ゆうちょ銀行

年末ジャンボ

ダイハツ

-監督・脚本-

映画「ねえ、この凹にハマる音をちょうだい」 (2017)
 【「MOOSIC LUB 2017」参加作品 K's cinemaにて上映】
 【ええじゃないかとよはし映画祭】
 映画「晴樹のサンダルが脱げそう」 (2017)
 【第17回TAMA NEW WAVE「ある視点」部門にて上映】
 【京都国際映画祭クリエイターズファクトリー】

-脚本-

舞台「僕等の図書室 ～特別授業～ 『マッチ売りの少女』」 (2016)
 @有楽町朝日ホール、サンケイホールブリーゼ
 加藤啓アワー「私、光ってなかった？」 演出：上田誠 (2011)

-その他-

ヨーロッパ企画「来てけつかるべき新世界」おまけトーク出演 (2016)
 「したまちコメディ大賞2016」ゲスト (招待作品「オトコノクニ」出演) (2016)
 加藤啓×中野愛子写真集「啓・加藤・家」 (撮影：中野愛子) (2016)

-イベント-

「カトケー・ハルキの短編映画祭」
 「ハイタウン2016」ヨーロッパ企画



映画「ねえ、この凹にハマる音をちょうだい」 (2017)



舞台「猿狸合戦」SENGOKU WARS~RU・TENエピソード2~(2016)



舞台「男たちの馬鹿」



撮影：古澤藤



舞台「ReLOVE」



TV「新・ミナミの帝王」